

共通レギュレーション(タミグラファイナル&マスタークラス) ご不明な点はグランプリ係までお問い合わせください。

- ☆競技車、パーツは全てタミヤ製に限られます。パーツは説明図の指定以外の方法では原則として使用できません。軽量化を目的とした穴開け・削り・部品の取り外しは認められますが、補強などの為に他の部品や自作パーツの追加は認められません。
- ☆モーター、バッテリー、タイヤ、インナー、ホイールは一切無加工(セッター等での角落とし、削りも不可)。ただし、ホイールのリブがサスアームに干渉する場合には削ることが認められます。(ハブ部分は禁止されます)
- ☆タイヤセンター部のバリ処理は認められます。ただし接地面までとし、溝状にはできません。車検は目視でおこないます。不可チェックを受けたタイヤは予選/決勝では使用出来ません。
- ☆バッテリーはタミヤ製バッテリーのみ。一切無改造、コネクタの変更、ハンダ流しなども認められません。タミヤ製LF2200-6.6Vも使用可能。練習走行時には、他社製ストレートバックの使用も認められます。(バラセル使用不可)。
- ☆セル毎にバッテリーを放電するタイプのディスチャージャーは使用できません(チューブに穴が空いているバッテリーはレースで使用することができません)。
- ☆公認ボディの軽量タイプも使用可能です。また、ウイングの取り外しは認められます。
- ☆スーパーストック等に付属するブラシヒートシンク(他社製も含む)の使用は認められません。ブラシのハンダ付け(固定ネジとの隙間を埋める目的とした)は認められます。
- ☆VOLAC MSに付属する「アルティメイトショットキー」の使用は認められます。(他社製の同様効果を発揮するパーツも可)
- ☆タイヤウォーマー類の使用が禁止されます。レース直前にタイヤ温度が高い場合、RCクリーナースプレーで冷却させていただく場合があります
- ☆タイヤの汚れ落としなどをする場合は、タミヤRCクリーナースプレーを使用して下さい。他社製のクリーナースプレーは会場内に持ち込まないで下さい。グリップ剤、それに類するものは使用できません。
- ☆シャーシに穴を追加するなどの加工で、ギヤケースやサーボステー等の取付位置を変更することはできません。ただしAMBボンダーステーの取付位置変更のための穴あけは認められます。
- ☆補強のためサーボセイバースプリングをセイバー外周に取り付ける改造は認められます(ただし1枚のみ)。接着等で固定し、ダイレクト仕様に改造する行為は違反となります。ナイロンバンドを使用しての固定も認められません。
- ☆軽量化を目的とした、モーターマウント等金属パーツの穴開け、削りは認められますが、取付構成を変更(ネジ止め箇所が減る等)するような大幅なカットは、ロール剛性の変更など、走行性能に影響がでるため認められません。

■TA05シャーシのプーリーについて

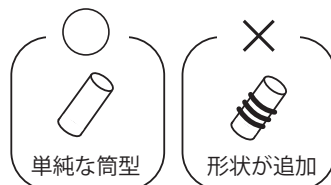
- センタープーリー18T(OP989)、前後プーリー37T(OP988)の組合わせ(OP1045 342mmドライブベルト、OP1170 ローフリクションドライブベルト342mmとの併用が必須)はTA05 シャーシ各車に使用可能です。ただし18T/37Tプーリーの使用時には指定ギヤ比が異なりますのでご確認下さい。また、フロントワンウェイを装着する場合、「OP1023 DB01フロントワンウェイプーリー(37T)」を使用して下さい。
- TA05(ver.IIIは除く)シャーシで使用可能なプーリーの組合わせは18T/37Tまたは、16T/36Tのみです。これ以外のセンタープーリーとボールデフ(ワンウェイ)プーリーの組合わせは認められません。また前後異なる組合せを使用することも認められません。

■TA05ver.II / TB-03シャーシのサスペンション形式について

- TA05ver.IIシャーシのフロントダンパーは、IFS(インボード・フロント・サスペンション)方式でのみ、出場が認められます。

モーターメンテナンスについて

- ☆使用モーターは、各自ご用意下さい。ライトチューンモーターの最大回転数:17,300rpmまでとなります。
- ☆スーパーストック等に付属するブラシヒートシンク(他社製も含む)の使用は認められません。ブラシのハンダ付け(固定ネジとの隙間を埋める目的とした)は認められます。
- ☆性能維持を目的としたメンテナンスは認められます。ただし、モーターの分解・非分解式を問わず会場では「コンピュータークリーニングブラシ」以外のコンピューター研磨機は使用できません。ブラシ、ブラシスプリングの加工も認められません。
- ☆ヒートシンク形状のコネクタ(エンドベルに直接取り付けるタイプ)は使用できません。いわゆるヨーロピアンコネクタ(単純な筒型)は認められます。



バッテリーの充電について

- バッテリーの充電は危険を伴う場合があります。充電中は目を離さず、注意を心がけましょう。過度の急速充電や異常な充電法などを行なうと思わぬ性能劣化を招いたり、バッテリーが使用不能になります。
- タミヤ製バッテリーは説明書を良くお読みの上、使用バッテリーに対応したタミヤ製充電器にてご使用ください。(タミヤ製充電器以外での充電は保証対象外となります。)
- LFバッテリー使用マシンは走行前に電圧チェックをテスト実施する予定です。ご協力ください。